

- 6 司会を務めた畑中古校長。参加団体にインタビューも行いました。
- 7 特設ステージではさまざまなイベントも。桜田まことさんと中島美華さんの歌で会場が一層盛り上がりしました



▶いわてまち焼きうどんをPRするキャベツマン。注目を集めていました



11月3日、4日の2日間にわたり行われた「ご当地グルメ博 in 十和田」は、十和田市を満喫してください。会場にお越しの皆さんは、大いに十和田市を満喫してください。と、あいさつをし、十和田バラ焼きゼミナールの木村長敏学長の「いただきます」の掛け声で開幕しました。

10月に北九州市で行われた第7回B-1グランプリで、ゴールドグランプリを受賞した八戸せんべい汁研究所や、横手やきそばサンライズ、久慈まめぶ部屋など愛Bリーグ

予想以上の賑わいを見せた2日間。完売が相次ぐ

北海道・東北支部に加盟する9団体のほか、十和田市からは十和田おいらせ餃子や十和田湖ひめます汁、なべっこだんごなどのご当地グルメ6団体が出演。また、十和田バラ焼きは市内協力店舗でハーフサイズで提供されました。

開始直後から各団体に長い行列ができ、2日間とも早い段階で完売するブースが相次ぎました。同実行委員会によると、来場者数は初日は1万3千人で、想定していた7千人を大幅に上回り、2日目には2万人が訪れる盛況ぶり。来年本市で開催される北海道・東北B-1グランプリに向けて弾みがついた2日間となりました。



北東北のB級ご当地グルメ団体が十和田に集結



11月3日、4日にかけて旧国道4号中心商店街とアートステーショントワダで「ご当地グルメ博 in 十和田～けっして争わないパラ戦争～」が行われました。両日ともに天候に恵まれ、2日間で33,000人が訪れました。訪れたかたは、北東北各地のB級ご当地グルメを存分に堪能していました。

Interview

スタッフ、参加団体、訪れたかたに話を伺いました。



ボランティアスタッフ
いわき ちかと
岩木 千聖さん
(十和田西高・3年)

第7回B-1グランプリ in 北九州もスタッフとして参加しました。十和田のいいところを伝えるなど、十和田の活性化のためにわたしもかかわることができてうれしいです。今回のように中心商店街をもっとイベントなどで活用できればいいなと思います。



本荘ハムフライを提供
ちば ひろき
千葉 博喜さん
(本荘ハム民の会)

思った以上のお客さんの数に驚きました。途中でフライヤーを追加しました。待ち時間が長いにもかかわらず、十和田のかたはあたたかく接してくださいました。来年の北海道・東北B-1はもっと数を増やして臨みたいですね。



いしだ さとこ
石田 聡子さん
みお ちゃん
ゆうま 悠真くん (十和田市)

北上コロッケや大曲納豆汁などを食べました。十和田でこのようなイベントが開催されてうれしいです。商店街が普段は寂しいと感じていたのですが、賑わっていいですね。バラゼミの皆さんの活躍を応援しています。

北海道・東北B-1グランプリも十和田スタイルで迎えたい

今回、バラゼミもスタッフとして参加しました。横のつながりを大切にするため、各団体にスタッフを配置し連携を取りました。お客様もさることながら、参加団体もてなすのが十和田(バラゼミ)スタイルです。また、店のシャツ

ターを開けたいという思いで、空き店舗5つを整備し活用しました。商店街が賑わっていてうれしいです。今回の反省点を生かし、来年の北海道・東北B-1グランプリも十和田(バラゼミ)スタイルで迎えたいと思います。



▲イベント前に空き店舗の清掃をするボランティアスタッフの皆さん

十和田バラ焼きゼミナール
きむら たけとし
木村 長敏 学長



- 1 たくさんの人で賑わう中心商店街
- 2 おいしそうにほお張る皆さん
- 3 さまざまなB級ご当地グルメが並ぶ
- 4 ボランティアスタッフが各団体を手伝いました。声を張り上げて呼び込みをする十和田西高の生徒ら
- 5 各団体の前には長い行列ができました